厚労省から社内検定認定
超速硬化スプレー

SUK

スプレーウレタン・ウレア工業会は、10月24日付けで厚生労働省から「スプレーウレタン・ウレア工業会社内検定（認定番号団第27号）」が認定されたと発表した。

超速硬化ウレタンスプレー施工が対象で、検定合格者は「超速硬化ウレタンスプレー施工主任技術者」となる。本年度は3月5日に学科試験、6～8日に実技試験が開催される。平成26年度は7月中旬開催予定だ。

社内検定とは昭和59年に労働省が、①事業主・団体の雇用労働者の技能向上と経済的・社会的地位向上②労働者の有する職業能力の程度を自ら検定することで、技能の振興に寄与する――ことを目的に施行した制度。

同会は社内検定のメリットを、①厚生労働省認定資格による技能力の差別化②技能評価による権威と客観性の確保③会員各社間の技能向上・技能水準の統一に有効――などとしている。

受検資格は、▽ウレタンゴム系塗膜防水作業技能検定1・2級合格者で2年以上の当該実務経験者▽同防水作業以外の防水作業1級合格者で2年以上の実務経験者または2級合格者で4年以上の実務経験者。

実技試験は吹き付け作業（約1時間）を施工法・膜厚・作業時間・材料使用量・作業態度の項目で採点する。学科試験は、建築一般・関連法規・製図・施工法の真偽問題25題と四肢択一問題25題の計50題。

環境行動計画12実績
太陽光、低層集住で増
プレ協

プレハブ建築協会はこのほど、環境行動計画「エコアクション2020」の2012年度実績を発表した。

環境配慮提案を積極的に行った結果、新築低層集合住宅において太陽光発電システムの供給率は、国・地方公共団体の補助金制度や固定価格買取制度、会員各社の商品ラインナップの拡充により、41・7％（前年比18・6ポイント増）と高まった。また、設置したシステム容量は、大容量の設置に適した屋根形状の商品を投入したことで、7・18キロワット／棟（同6・8％増）に伸びた。なお、品確法省エネルギー対策等級4相当の供給率は、断熱仕様の向上により、73・3％（同21・1ポイント増）となった。

調査の対象は、同協会環境分科会参加の10社。10社の供給戸数は戸建住宅6万7119戸（同0・5％増）、低層集合住宅6万6393戸（同8・3％増）。集合住宅の戸あたり平均床面積は50・2平方メートル（同1・0平方メートル減）。

新入社員を対象に基礎知識・技能講習会開催
関東ポリルーフ工業会

関東ポリルーフ工業会は12月6日、東京・府中市の東京都立多摩職業能力開発センターで、新入社員およびFRP防水未経験者を対象に「ポリルーフ初級講習会」を開催した。

挨拶に立った高野安則会長（写真）は「情報はホームページなどで得ることができる。しかし、施工技術は体験しないと分からない。講習は皆様の今後の活動に役立つものである」と述べた。

講習内容は次のとおり。

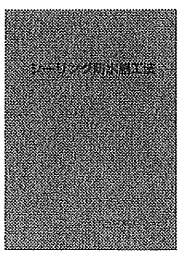
▽FRP防水の説明と業界動向▽施工ビデオ▽FRP防水の実技講習（施工手順、使用工具の説明プライマー～ライニングまで）▽FRP防水の実技講習（中塗り～トップコートまで）▽安全衛生とクレーム事例紹介▽質疑応答

シーリング防水施工法改訂
新築・改修を1冊に
日シ工連

日本シーリング工事業協同組合連合会は、「シーリング防水施工法」と「シーリング防水改修マニュアル」を1冊にまとめ、「シーリング防水施工法」として発刊した。

シーリング防水は、綿密な施工計画を立て、最新の技術および工法を駆使して施工しなければならない。そのため、改訂にあたってはシーリング防水目地の納まり等の見直し、施工管理の明確化、さらに事前検討の重要性を踏まえ、目地幅の算定例を新たに加えるなど全編にわたって内容の充実を図った。同書はこれまでの経験を踏まえ、設計、施工、ディテールおよび補修法等について、一見して要点が分かるように配慮してある。同書の内容は次のとおり。

▽第1章建築物と目地の基礎知識▽第2章シーリング防水の基礎知識▽第3章シーリング防水工事の管理と施工▽第4章シーリング防水工事の改修▽第5章シーリング防水工事のディテールシート



イベント・セミナー

◆鉄筋コンクリート造建築物の各種不具合事例と予防保全のためのシンポジウム【主催】日本建築学会関東支部【日時・会場】平成26年2月21日・日本大学理工学部（東京都千代田区）・午後2～5時【問合せ】同協会（☎03・3456・2050）まで

マンション維持・改修に強くなる
鉄部塗装改修

一般社団法人マンションリフォーム技術協会
岸崎孝弘（㈲日欧設計事務所）

マンションの共用部分には多くの鉄製部品が使用されているが、一部を除き、ほとんどは塗装仕上げである。

マンションではバルコニーや開放廊下の手摺が鉄製の場合もある他、外部鉄骨階段などがその代表である。

鉄部は錆が進行し、長年放置した場合には外部鉄骨階段の手摺格子が完全に破断し、危険な状況の事例なども見かけることから、計画的な鉄部塗装を行い維持管理することが望ましい。外部鉄骨階段のような日常使用され、かつ安全性が求められる部位においては、大規模修繕の周期である12年程度の長期にわたり塗装を行わなくても、使用に耐える仕様と施工が望まれる。

塗装の際に最も重要なことは、長年放置した場合に錆が進行し、鉄部表面が完全に破断し、危険な状況の事例なども見かけることから、計画的な鉄部塗装を行い維持管理することが望ましい。外部鉄骨階段のような日常使用され、かつ安全性が求められる部位においては、大規模修繕の周期である12年程度の長期にわたり塗装を行わなくても、使用に耐える仕様と施工が望まれる。

塗装の際に最も重要なことは、長年放置した場合には外部鉄骨階段の手摺格子